

シルバーだより

いきがい

発行

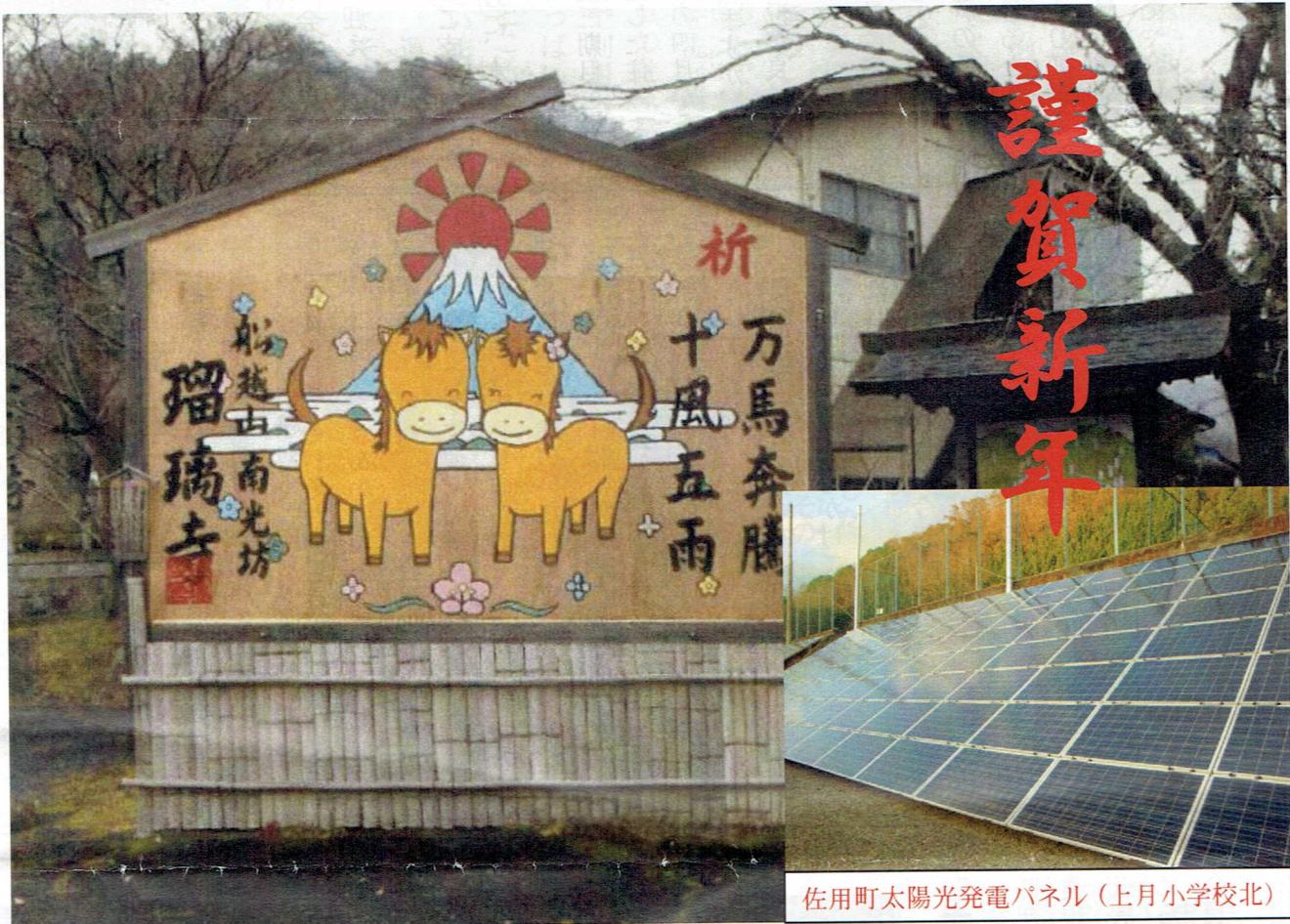
公益社団法人

佐用町シルバー人材センター

広報編集委員会

〒679-5301 兵庫県佐用郡佐用町佐用 1035-14

TEL (0790) 82-3630 FAX (0790) 82-3034

ホームページアドレス <http://sayosilver.sakura.ne.jp>

主な内容

- ・ 瑞瓈寺千支絵馬風景
- ・ 平成26年理事長年頭の挨拶
- ・ 無事故記録最優秀賞受賞、安全委員会現地パトロール実施
- ・ 投稿～私の歩み・剪定に生きる
- ・ 会員親睦旅行について
- ・ 事務局だより、原稿募集、配分金お支払のお知らせ
- ・ 編集後記



社会の担い手として活動を



理事長

有本長治郎

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、ご家族お揃いでお健やかな新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また日頃は、当センターの運営に格別のご支援とご協力頂き、心からお礼申し上げますとともに、本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年の秋には町長選挙が行われ、合併後三期目となる庵治町長が当選され、さらなる安定した住みよい佐用町を願うものであります。また、この四月からは、消費税が八パーセントに引き上げられますが、日本の財政事情が大きく転換され、経済の状況が良くなることを期待するものであります。

当センターにおきましては、近年、会員数や事業契約金額は横ばいの状況であります。このことは、平成二十年のリーマンショックによる日本経済の低迷に伴い、当シルバーの契約金額にも影響が生じると思われますが、佐用町は企業が少ないためにあまり変動が生じないことが考えられます。目標は、会員の増加と契約金額の増額ですので、今後も就業の開拓や会員推進に努めなければなりません。



500x571 - 43.1KB - 案内市案】如布・和風生地・手芸
http://www.rakuten.co.jp/munogata/

役割を果たし、それぞれの生きがいの充実を図るうではありませんか。現在、各地区毎に推進員を配置し、就業の拡大・会員の加入推進等、当センターの事業運営の効果を高めるために推進をして頂いておりますので、会員の皆様のご理解ご協力を願っています。

尚、当センターは、昨年秋の兵庫県シルバーハ人材センター協会主催の事業推進大会において、無事故記録・五百六十六日の最優秀賞を受賞いたしました。

会員の皆様には、改めて就業中及び交通の安全について日頃から心がけて頂きますようお願いいたします。

最後になりますが、今年も会員皆様方の健康で明るい幸多い年でありますようご祈念申し上げましてご挨拶といたします。



兵庫県シルバー人材センター協会 事業推進大会

最優秀賞受賞

無事故記録 566日

昨年十月三十一日に神戸市で開催された兵庫県シルバー人材センター事業推進大会において「事業の維持発展を図るうえで、会員の安全確保を最重要課題と位置付け、会員自らの安全意識の高揚を図ることの結果において、佐用町シルバーが最優秀賞を受賞しました。

安全委員会現地パトロール実施

兵庫県シルバー人材センター協会 安全就業標語

安全標語 気を抜くな 慣れと過信は 事故のもと

昨年九月、安全委員会が会員の草刈り作業現場の現地パトロールを行い、現場の代表者から作業の取組み体制等説明を求められました。

会員の皆様には、「安全はすべてに優先する」という原点に立ち返り、安全就業対策を最重要課題として、再認識して取り組んで下さい。

私の歩み

投稿

会員番号八十一 大内美惠

陰と陽を結ぶ鉄道として智頭線が開通して昨年末で十九年を迎えました。さびれかけた山村に走る鉄道の姿は、それは皆さん憧れでした。私は現在久崎駅の清掃作業をしており、私もウキウキと仕事が楽しく他の駅に負けないように綺麗にしなければと頑張っております。

いたずらが多く、心ない人のゴミの不法投棄や子供の落書きなどのいたずら等、予想もしなかった事に悩まされた。でも、利用される方々が智頭急行が開通して便利になつたと喜んでおられる様子を見ると、少しでも気持ちはよく旅をしてほしいと思い、野の花一輪を洗面所に飾りお客様との会話にも心がけました。気の進まない事、私自身もそうなんですが色々な気持ちで利用しています。心配事で気持ちの重い人、楽しみいっぱいの同窓会に出かける人、今日は孫に会いに行くところですとか、楽しい時は皆さんの方から教えて下さいます。仕事から得たことは勉強になる事ばかりでした。運動にもなつて今、健康でいられるのも仕事があればこそと感謝して、これからも利用されるお客様のマナーに守られて、仕事を宝物として続けられる事を願っています。



久崎駅で作業されている風景

剪定に生きる

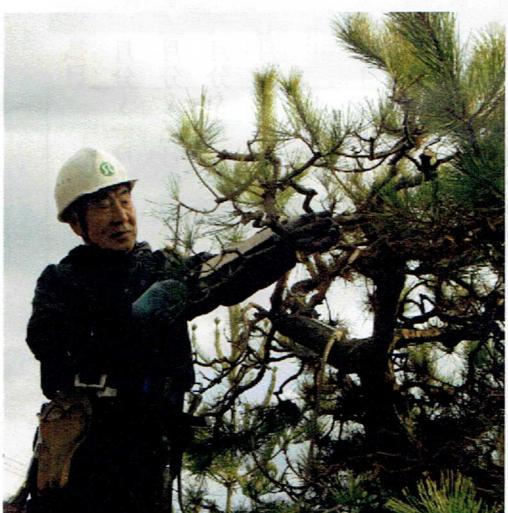
会員番号七十二 横山繁

平成十二年シルバー会員になり、草刈り作業に従事していましたが、剪定講習会に参加し、話を聞いていると難しく感じられ自分に出来るだろうかと思われるほどでした。講習会の終了後、先輩からアドバイスを受け判らない部分も多くて大変でした。

毎年講習会がある度に参加し、習っていましたが、講師の変わることで説明も変わり、剪定の仕方も違い、迷いに迷いました。ある先輩の言葉に、

時期的なことや、その時その場面で違つてくるから変化に惑わされず自分で講師の良いところを取入れたら良いと、話をされているのを耳にして、迷いもなくなり自分の剪定技術に打込めるようになります。最初は簡単な樹木から、自分のイメージ通りの成形になるかを考え、出来上がった樹形を見てもらつて評価をして頂き、「この時はこう、この場合はこうするとよい」と、一本の樹木毎に聞きながら教えてもらいました。

三年位過ぎたとき、この松を剪定してみては、と言われ一本の松を先輩と差し向かい、モミ上げから中芽入れ・形成と一通りの剪定順序を教えて頂きました。この貴重な経験は今も忘れることありません。良き先輩のアドバイスと、自分の技術を次の会員に伝えることが自分の使命だと思っております。新入会員に教え伝える毎に、自分が最初に教えて貰つた事を思い浮かべながら注意したり、笑顔になつたり、心の中で怒つてみたりしています。



現場で作業されている風景

現在、佐用地区の剪定会員は七名で就業にあたっていますが、先輩後輩のわだかまりはない様に思っています。日々和気相々で、剪定後の樹木に対してお互いに批評などをしたりしています。この様な有意義な批評は、お互いの技術の向上につながるものと確信しています。この有意義な剪定批評は、発注者と会員を育む糧になるものと考えております。自分が発注者の立場に立つて作業をするこの気持ちを育むことが、お客様とのコミュニケーションを密にし、シルバーの前進につなげたいと思います。

現在は各地区毎の草刈り・剪定を区分され就業されていますが、今の現状では先々が案じられます。町合併から九年目に入っていますが、シルバーも先の事を考えてみては如何でしょうか。理事会並びに推進員会等で詰合う時期が来ているように思われます。事務局を始め発注者・会員相互の三位一体の発展に望みを託したいと思つております。

会員親睦旅行

昨年十一月十四日に会員六十六名参加して親睦旅行を行いました。

二台の観光バスに分乗して「徳島・阿波踊り会館と鳴門」の観光と会食を楽しみました。鳴門では、大型観光船に乗り

鳴門のうず潮の中に、また、阿波踊り会館では、本場の阿波踊りを楽しく見たり参加して踊る会員もあり、楽しい観光を過ごしました。

これからも会員相互の親睦を高めるために、楽しい親睦旅行を計画いたしますので、多くの会員の参加をお待ちしております。

「安全標語」の募集について
 安全就業推進大会を三月頃に予定しておりますので、多くの会員さんの参加をお願いいたします。
 また、安全標語を二月十四日を締め切りとして一人二点まで、募集いたしますのでセンター事務局までお寄せ下さい。
 なお、優秀賞に選定されました標語作品は、安全就業推進大会で発表させて頂きます。

配分金の確定申告について

<配分金等の収入だけの場合>

年間配分金等の合計額が103万円を越える場合

<配分金等の収入の他に年金収入がある場合>

(年間配分金額-必要な経費等の控除額65万円) + (公的年金額-公的年金等の控除額) > (基礎控除額38万円+扶養控除の控除額)

* 詳細については、税務署にご相談ください

剪定講習会開催予定について

剪定講習会(松・さつき等)を二月頃に予定していますので、ご希望の方は事務局又は各地区の推進員さんまでお申し下さい。

配分金支払日

一月分～一月十五日	二月分～二月十四日
三月分～三月十四日	四月分～四月十五日
五月分～五月十五日	六月分～六月十三日
七月分～七月十五日	八月分～八月十五日

原稿募集

シルバーだより「いきがい」の原稿を次のような内容で募集していますので、ぜひ投稿をお願いいたします。

☆自己体験・随筆・短歌・俳句・写真等

☆原稿締切日 平成二十六年六月末

☆シルバー人材センター事務局までお寄せ下さい。

編集後記

甲午(きのえうま)年明け

今年はどんな歳になるのでしょうか

どうか良い歳になりますように

会員の皆様、お元気でお過ごしですか、超高齢化社会到来の言葉を耳にする昨今です。先日もNHK「クローズアップ現代」番組でシルバー活動就労等の現況が放映されました。
 その中に「生きがい就労」と言う文言をキャッチし、シルバーの社会参加と地域に元気をと、ありました。皆さん健康に気をつけ共に頑張りましょう。



広報委員

西崎 光男
舟引 良基
井上 薫
祐保 俊彦